

学びのアップデート

令和4年2月7日
臨時号
東京都教育庁総務部
教育政策課

各校では、新型コロナウイルス感染症に伴う学級閉鎖・学年閉鎖や分散登校及び感染不安等のため、やむを得ず学校に登校できない児童・生徒の学びを継続する取組として、オンライン学習等を実施していることと思います。本号では、オンライン学習を実施する際に役立つ情報と実践例等を紹介します。

東京都教育委員会では、オンライン学習の具体的な事例や授業を行う上で意識しておきたいポイントなどを「心のつながりオンラインプロジェクト」と「オンライン学習メールマガジン」で発信しています。リンクを紹介しますので、各校での取組の参考にしてください。

また、都立学校で実施したオンライン学習の事例を基に、オンライン学習を円滑に行うための事前準備や工夫を「オンライン学習を円滑に実施するための準備」、「オンライン学習時の資料提示方法の工夫」、「オンラインでの学習方法の工夫」、「教室での授業に自宅にいる児童・生徒も参加する際の工夫」としてまとめましたので、各校で活用してください。

◎心のつながりオンラインプロジェクト

都内公立学校から応募のあった、一人1台端末を活用した人と人とのつながりを深める取組や工夫を、紹介しています。

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/project_online.html

◎オンライン学習メールマガジン

オンライン学習を行う上で参考になる資料です。オンライン学習を行う際の教員の心構えや、オンライン学習を行う際の児童・生徒への配慮事項が中心となっています。

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/course/000005.html>



オンライン学習を円滑に実施するための準備

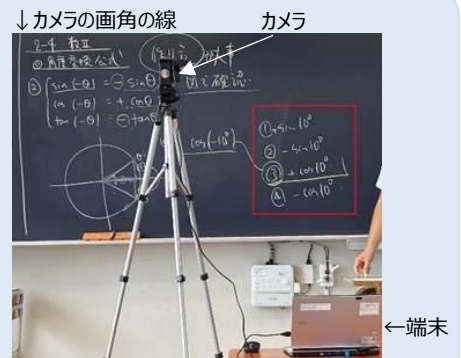
オンライン学習では、児童・生徒が学校にいないため、操作方法の疑問や接続トラブルをその場で解決することができません。事前に、**教員と児童・生徒がともに端末や機器の操作方法や接続の確認**を行きましょう。

オンライン学習を実施する前に、以下のチェックボックスを利用して事前準備の状況を確認していきましょう。

①教員は、端末や学習支援クラウドサービスの操作方法等を確認する。

□操作方法等を確認する。

会議 URL の作成方法与会議参加方法
会議 URL の周知方法
投稿機能やファイル共有機能を利用した資料の配信方法
カメラ ON/OFF の切り替えや背景の設定方法
マイク ON/OFF の操作方法
投稿機能の使い方
音声トラブル等への対応方法 など



板書と機材の配置例

□端末の配置位置を確認する。

例 黒板が映る範囲や板書の文字の大きさを把握し、黒板に画角の両端の線を引いて目印とする。

□児童・生徒の自宅での通信トラブル発生時の対応方法を確認する。

例 教員や ICT 支援員が電話待機をする。授業動画を後日配信する。など

②教員と児童・生徒で、オンライン学習に向けての事前接続確認を行い、参加の仕方やオンライン学習を実施する際の留意点を周知、確認をする。

<児童・生徒への留意点の周知>

- 会議 URL の確認方法与会議参加方法
- 事前に配信された資料の確認方法
- オンライン学習時の留意点について

カメラ ON/OFF の切り替えや背景の設定方法
マイク ON/OFF の操作方法
投稿機能の使い方
音声トラブル等への対応方法 など

□児童・生徒の自宅での通信トラブルへの対応方法

例 学校へ電話をして状況を伝える。

<教員の確認事項>

- オンライン配信用と参加者画面確認用の2台の端末を用意し、参加者画面確認用端末で児童・生徒が参加した際の画面の写り方を確認する。

例 「スポットライト」機能を使用して、児童・生徒側端末で授業風景が全画面表示されることを確認する。

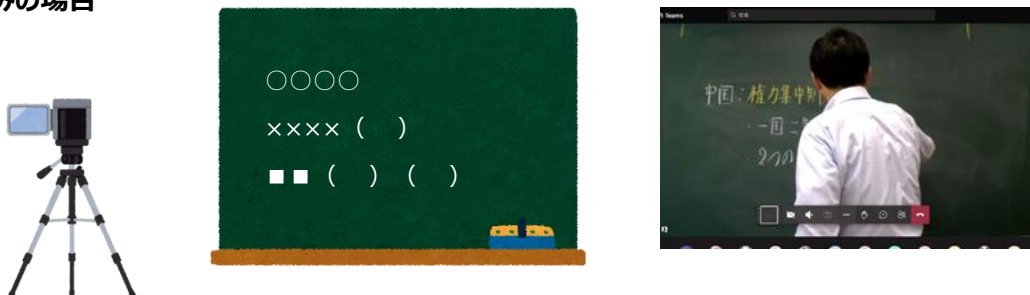


オンライン学習時の資料提示方法の工夫

オンライン学習では、**資料の提示方法を工夫**することで、児童・生徒へはつきりと分かりやすく資料を見せることができます。

【実践例】

◎板書の場合



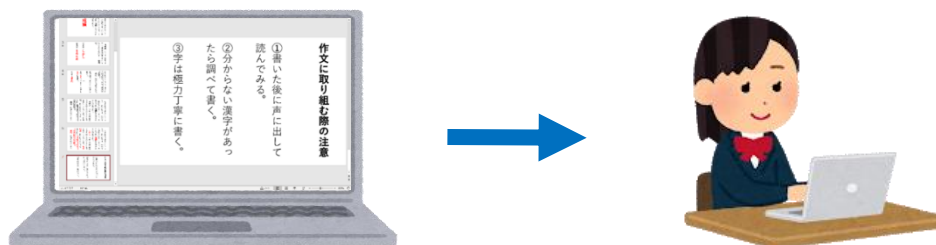
- ①オンライン学習開始前に必要な事項を板書しておく。
- ②説明しながら、**重要な事項のみ追加**で板書する。

◎書画カメラで資料共有を行う場合



- ①事前に書画カメラの画像を端末に表示できるように接続する。
- ②教科書、資料集やプリント等の実物を**書画カメラで投影し、書画カメラの映像を画面共有**する。
実物の教材を示しながら学習を進める。

◎プレゼンテーションソフトで資料共有を行う場合



- ①**プレゼンテーションソフトで作成した資料を画面共有**する。
- ②画面共有している資料に**画面上で書き込み**をしながら学習を進める。

オンラインでの学習方法の工夫

～ 同時双方向型のオンラインとオンデマンドを組み合わせた学習 ～

同時双方向型のオンライン学習にオンデマンド型の動画配信を組み合わせることで、児童・生徒は自身の理解度に応じて**動画を見直しながら学習**を進めることができます。



【学習の流れ 実践例】

- ①教員は、学習開始時に、**同時双方向型のオンライン**で一斉に**本時の目標と学習の流れ**を説明する。
- ②児童・生徒は、各自で**オンデマンド動画**を視聴し、**課題や問題演習**に取り組む。
※動画を見直しながら演習を行う。
※質問は、投稿機能やオンラインで行う。
- ③教員は、**同時双方向型のオンライン**で一斉に**本時のまとめ**を行う。

学習の流れ

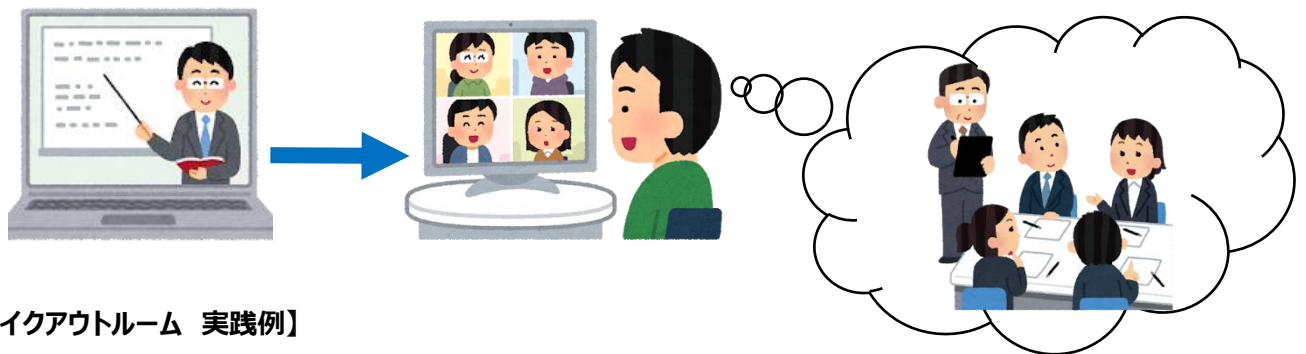
①学習の流れを説明（一斉）

②オンデマンド動画視聴（個別）

③まとめ（一斉）

～ ブレイクアウトルームを活用したオンラインでのグループ学習 ～

ブレイクアウトルームを活用することで、オンライン学習でも**グループ学習**を行い、児童・生徒が**意見や考えの共有**を行い、意見や考えを整理してまとめることができます。

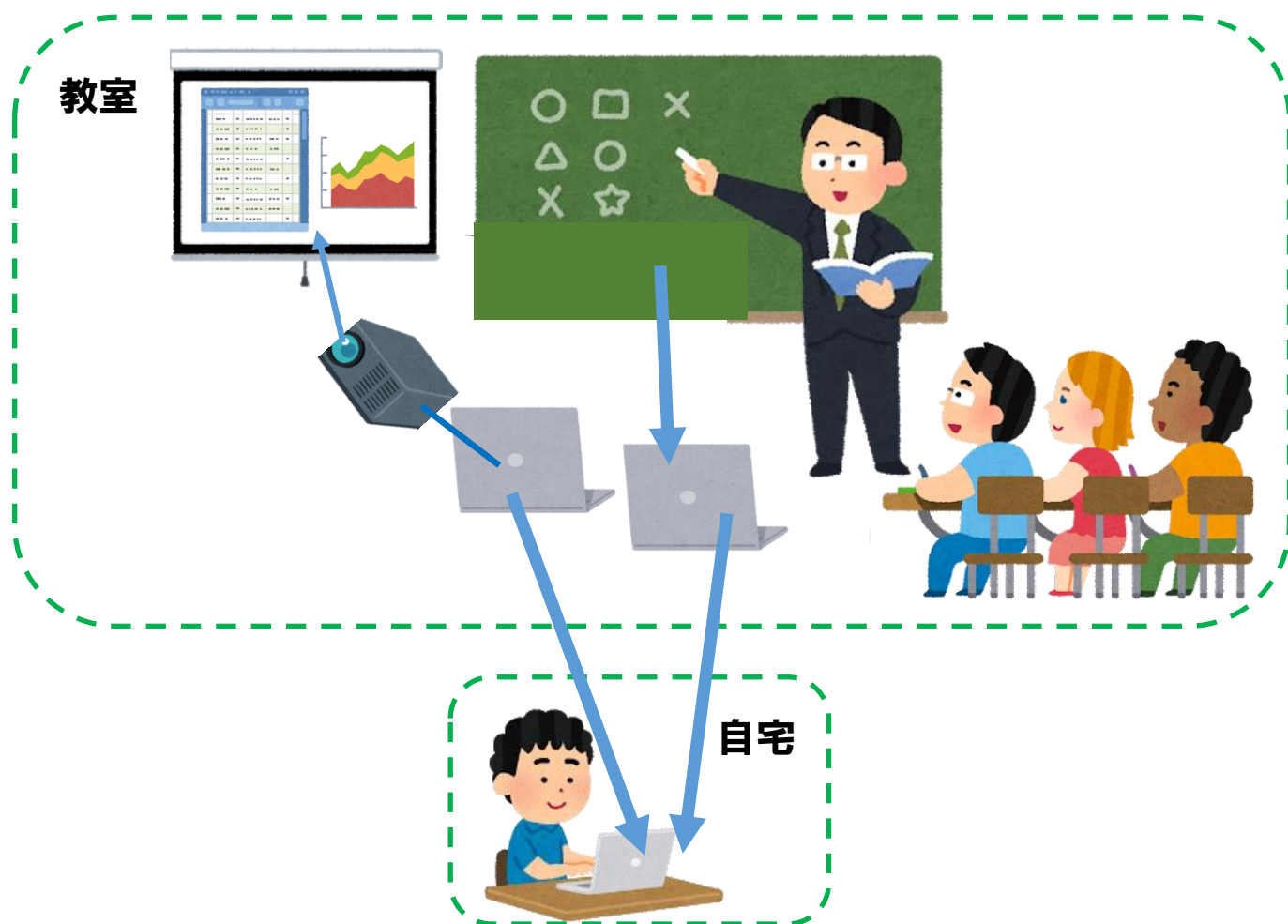


【ブレイクアウトルーム 実践例】

- ①教員は、授業の最初に、画面共有で資料と**課題を提示**する。
- ②児童・生徒は、**ブレイクアウトルーム**でグループに分かれ、**意見や考えを整理してまとめる**。
- ③児童・生徒は、全体のルームに戻って**グループごとに発表**する（ホワイトボード機能なども活用する）。
- ④教員は、各グループの発表に対して解説や補足説明を行い、学習のまとめを行う。

教室での授業に自宅にいる児童・生徒も参加する際の工夫

分散登校や感染症対策で自宅学習を実施する児童・生徒に対して、教室での授業を**ライブ配信する方法を工夫**することで、**教室と同じような学習環境で自宅での学習**を行うことができます。



【実践例】

- ①教員は、授業開始前に、**板書撮影用と資料共有用の2台の端末を用意する。**
板書撮影用端末：カメラとマイクを接続して黒板を撮影する。
資料共有用端末：プロジェクタで資料をスクリーンに投影する。
自宅から参加する児童・生徒も資料を確認できるように画面共有を行う。
- ②教員は、授業開始時に、板書撮影用端末でオンライン会議を開始する。
- ③教員は、**板書を活用して授業を進め、資料の解説を行う際には、資料共有用端末で画面共有している資料に書き込み**をする。
教室内の児童・生徒は、板書での説明と、プロジェクタで投影された資料を見ながら学習を進める。
自宅の児童・生徒は、カメラで撮影された板書と、画面共有された資料を見ながら学習を進める。